

建築構造物の最新耐震補強技術と 巨大地震に向けた今後の課題

2020.3.2 mon. 13:30 ▶ 17:00

◎名古屋工業大学4号館1階ホール 開場13:00 参加費：無料（事前申込制）

■主催：名古屋工業大学高度防災工学研究センター ■共催：東海圏減災研究コンソーシアム

プログラム

★13:30～13:35 挨拶：鶴飼 裕之（名古屋工業大学学長）

第一部 基調講演

★13:35～14:40 「財産・事業継続を保障する建築物の損傷制御設計と鋼部材の利用」
竹内 徹（東京工業大学教授）

第二部 パネルディスカッション

★14:50～17:00 「建築構造物の最新耐震補強技術と巨大地震に向けた今後の課題」
省資源社会に向けた軽量鋼部材を用いた耐震補強法の提案 倉田 真宏（京都大学）
超高層骨組の梁端接合部補強のE-ディフェンス実験 長江 拓也（名古屋大学）
建築物のリアルタイム耐震診断システム 斉藤 大樹（豊橋技科大）
事業継続を目的とした大スパン工場建屋の耐震改修事例 新美 仁（豊田自動織機）
尾鷲ヒノキを使った尾鷲市役所本庁舎耐震改修事業 横並 努（竹中工務店）
コーディネーター：井戸田秀樹（名古屋工業大学）

★17:15～ 懇親会（会費3,000円）



竹内 徹：1984年東京工業大学修了、1984年～2002年新日本製鐵勤務、1990-1992年英国Ove Arup & Partners London勤務、2003年より現職。2000年JSCA賞、2006年日本構造デザイン賞、IASS Tsuboi Award、2011年日本建築学会賞(論文)、2019年日本建築学会著作賞。構造設計代表作品に香港中環中心、東京工業大学緑が丘1号館レトロフィット、東京工業大学附属図書館、東急緑が丘駅など。



会場アクセス

- JR中央本線 鶴舞駅下車
（名大病院口から東へ約400m）
- 名古屋市営地下鉄 鶴舞線 鶴舞駅下車
（4番出口から東へ約500m）
- 名古屋市営地下鉄桜通線 吹上駅下車
（5番出口から西へ約900m）
- 市バス 栄18系統 名大病院下車
（東へ約200m）

参加ご希望の方は前日までに下記
QRコードよりお申込み下さい



問い合わせ：名古屋工業大学 井戸田 秀樹 (idota@nitech.ac.jp)